



茨建協 ニュース

IBAKENKYOU NEWS

2025.12 NO.677



茨城景観百選

鹿島臨海工業地帯の夜景

鹿島臨海工業地帯の夜景は、ライトアップされた幻想的な景色として、砂山都市緑地や港公園などいくつかのスポットから楽しめます。特に、砂山都市緑地は高台からパノラマビューを楽しめる代表的なスポットです。また、港公園は夜間でも港越しに工場夜景を鑑賞できます。

CONTENTS

- 理事会で上半期事業と決算が承認
- 常任理事が災害時情報伝達訓練
- 舗装部会 60周年記念式典を挙行
- 建女ひばり会が県表彰受賞

理事会

基盤強化へ意見交換推進

上半期の事業・決算を承認

本会は11月21日、理事会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催しました。令和7年度上半期の実施事業や決算を報告。上半期は、経営基盤の強化へ意見交換や要望活動を推進したほか、担い手の確保・育成へ現場見学会などを開催しました。

石津健光会長は冒頭のあいさつで、地方の建設業の厳しい環境と社会インフラ更新の必要性を踏まえ「建設業が社会的使命を継続して果たしていくためには、個々の企業が適正な利潤を確保し、将来にわたり経営基盤の強化を図ることが不可欠。その上で、担い手の確保や育成、働き方改革の着実な推進、インフラ分野のDXへの対応などを進めていかなければならない」と強調。

特に全国の出生者数が70万人を割ったことを踏まえ「若者に選ばれる業界となるべく収入の安定化を図るため月給制の原則化や柔軟な働き方の検討をこれまで以上に進めていかなければならない」と訴えました。

上半期は、経営基盤の強化に向けて関東地方整備局や県土木部との意見交換会、茨城・群馬・栃木三県の建設業協会役員で防災減災をテーマとする意見交換会を開催。8月には熱中症対策費の計上、柔軟な働き方の整備検討、労務単価などの引き上げを強く要望した。

経営改善事業では、監理技術者講習会や現場代理人スキルアップセミナーなどを開催。

地域貢献活動では、5月に県の防災訓練に参加。



石津会長



上半期に実施した事業内容を報告しました

6月には支部対抗チャリティーゴルフ大会を開催し、チャリティー金を寄贈しました。

人材の確保・育成に向けては、建設現場見学会、建設業インターンシップ、新規入職者研修、新規入職者フォローアップ研修を実施。

また働き方改革に向け、「令和7年度建設業の働き方・担い手確保に関する経営者向け意識調査」を実施するとともに、「建設現場土日一斉閉所」運動を呼び掛けました。

委員会活動では、常設4委員会が意見交換会や勉強会などを開催。舗装部会、建設未来協議会、建女ひばり会多くの活動を実施しました。

理事会後には表彰伝達。勤労者退職金共済機構理事長表彰を受賞したサニー建設、市原工業、三国屋建設の3社に、同機構の山口勝俊部長から表彰が伝達されました。



サニー建設



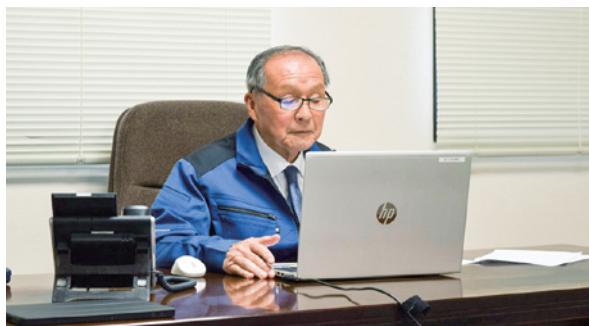
市原工業



三国屋建設

常任理事で情報共有を密に 災害時情報伝達訓練を初開催

本会は11月21日、常任理事での災害時情報伝達訓練を初開催しました。災害発生時は各支部と茨城県土木部の各土木・工事事務所で連携を図りながら災害復旧工事等に取り組んでいますが、協会全体での県内における状況把握などを常任理事で行ったものです。



タブレットを使用してオンラインで常任理事、約30名が参加。石津健光会長の進行により訓練がスタート。想定被害を設定し、各支部管内から状況報告を受けたほか、ドローンを活用した被災箇所の情報共有を行い、有事の際に備えました。



来年1月から取適法施行

説明会を研修センターで開催



本会は11月21日、来年1月から施行される中小受託取引適正化法（取適法）の説明会を水戸市の県建設技術研修センターで開催しました。下請代金支払い遅延等防止法（下請法）に代わるもので、新制度では、従業員数100人または300人超の企業が、発注元として新たに取適法の適用対象となる可能性があります。また受注先との協議を経ずに代金を一方的に決定することが原則禁止。支払い手段として手形を用いることが原則禁止となります。

新機能・安全機能の活用事例も

災害時ドローン活用セミナー



本会は11月21日、災害時のドローン活用セミナーを水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催しました。金井度量衡株の吉田雄一氏を講師に、防災訓練におけるリアルタイム情報共有の概要、災害時の測量における留意点、市販システムの現状、測量の新機能、そして安全機能を活用した事例などについて学びました。

先人の努力継承し前進決意

舗装部会が創立60周年



本会舗装部会（秋山光伯部会長）は4月9日に設立60周年を迎え、記念式典と祝賀会を11月12日に水戸プラザホテルで開催しました。式典では秋山部会長が「60年という歴史は、先人たちのたゆまぬ努力と、関係者一人ひとりの熱意の結晶。その伝統と成果をしっかりと受け継ぎ、常に前向きに挑戦し続ける」と決意表明。祝賀会では岩下泰善副知事の発声で乾杯。60周年を契機に一層の発展とさらなる飛躍を誓い合いました。

建設技術展2025関東を視察

経営企画委員会



建設技術展2025関東

本会経営企画委員会（菊地和幸委員長）は11月20日、東京のサンシャインシティ展示ホールで開催された「建設技術展2025関東」（主催・日刊建設工業新聞社）を視察しました。

出展者数190を超えるブースの建設技術やサービスを体験しましたほか、ステージプログラムによる各種講演、パネルディスカッションを聴講しながら、事業拡大を加速する、勝ち抜くための建設情報について学びました。

令和7年度

茨城県技術者表彰受賞者

(11月表彰分)
※受賞者(企業名)
敬称略

【土浦土木事務所長表彰】

- ◆程田徹（株新みらい）
- ◆藤田和之（佐々木建設株）
- ◆坂本優作（株高田工務店）
- ◆佐藤有人（成島建設株）
- ◆大山裕康（東亜興業株）
- ◆木村和幸（株霞工業）
- ◆勝田俊行（北都建設工業株）
- ◆中島浩二（株赤塚土木興業）
- ◆久保田佑紀（白田組土木株）
- ◆黒田規夫（谷原建設株）
- ◆真家孝一（市村土建株）
- ◆飯嶋司（小桜建設株）
- ◆臼井友洋（株市原工業）
- ◆飯田洋次（株折本工業）
- ◆惣野代忠（株市原工業）
- ◆坪井亮（福井建設株）
- ◆田嶋雄士（池田技建工業株）

【常陸太田工事事務所長表彰】

- ◆廣島亮一（株ムラノ）
- ◆飯島義雄（佐藤土木株）
- ◆富山嘉美（株富晃）
- ◆新井博（株折本工業）
- ◆野内隆行（株梅原工務店）
- ◆鈴木康之（株井坂組）
- ◆関根祐一（珂北開発株）
- ◆齊藤淳一（有生田目工務店）
- ※現場代理人感謝状
- ◆久具謙吾（有飛田組）
- ◆櫻井信市（株水府工務店）
- ◆岩佐宗則（株根本工務所）
- ◆綿引章浩（株岡田建設）
- ◆大關浩一（珂北開発株）

【流域下水道事務所長表彰】

- ◆下田秀幸（増川建設）
- ◆倉金幸一（大坂建鋼）

【鹿島下水道事務所長表彰】

- ◆金子和幸（小若建設）
- ◆菊池弘朗（常総開発工業）

【県北農林事務所長表彰】

- ◆秋葉裕（株瀧工務店）
- ◆海老根朋治（株鶴田組）
- ◆笛島英一（株平野産業）
- ◆吉田長申（株吉田組）
- ◆小林一也（常北開発株）

【県央農林事務所長表彰】

- ◆溝口徳（大平建設株）

【鹿行農林事務所長表彰】

- ◆鎌木大輔（鎌木建設株）
- ◆菅谷一成（有菅谷工務店）
- ◆関一政（株茂木工務店）

【長須一也（高橋建設株）】

- ◆日向寺順（株光建）

【県西農林事務所長表彰】

- ◆塚本英樹（株北島土建材）
- ◆渡邊凌（株齊藤総業）
- ◆深谷一成（株ワイエスケイ）
- ◆永瀬浩幸（森建設株）
- ◆横島義勝（森田建設工業株）

建女ひばり会が受賞

令和7年度茨城県表彰



令和7年度の茨城県表彰が11月12日、県庁講堂で執り行われ、本会の建女ひばり会（柳瀬香織会長）が新しいいばらきづくり表彰（団体）を受賞しました。毎年、各分野で功績のあった団体個人を称えるものです。受賞理由として、建設業における女性技術者などの活躍を支援し、建設業の魅力向上に向けて、女性ならではの視点で研修会や意見交換会などを開催し、建設業界の発展に寄与したことが評価されました。

建設業の魅力、親子に伝える

霞ヶ浦導水で見学会開催



本会は11月13日「建設業親子見学会2025」を霞ヶ浦導水石岡トンネル第3工区（茨城町上飯沼）で開催しました。抽選で選ばれた小学4～6年生と保護者の40組80人が参加。地下40mの工事現場見学をはじめ、立坑用専用エレベーターや坑内用トロッコの試乗体験、ドローンの飛行体験などを通じて建設業の役割や魅力を伝えました。子どもたちからは「現場では1日にどれくらいの人が働いているの」など活発な質問が飛び交いました。

県検査指導課と意見交換

建設未来協議会



本会の建設未来協議会（櫻井俊一会長）と茨城県土木部検査指導課（長山公信課長）による意見交換会が11月21日、協会本部で行われました。建設未来協議会の役員など16人、県側7人が参加し、受発注者双方の課題解決に向け、活発に意見を交わしました。櫻井会長は「われわれが現場で感じている疑問や問題点について、率直な意見を投げかけさせていただく。受発注者間で抱える課題について、きたんのない意見交換会ができれば」とあいさつしました。

公共事業費に初の2兆円超

国の令和7年度補正予算案

国の令和7年度補正予算案で、公共事業費に2兆873億円が計上されました。国土交通省の設置以来、初の2兆円超え規模となります。防災・減災、国土強靭化の推進には1兆8003億円。このうち第1次国土強靭化実施中期計画の初年度分としては公共事業費1兆2346億円を計上しています。

流域治水の考え方に基づいた事前防災対策には公共2755億円。高規格道路整備など災害に強い道路ネットワーク整備には2122億円を設定。このほか河川・ダム、道路などの重要インフラにおける老朽化対策としての修繕には1752億円。生産性向上に資する道路ネットワーク整備に717億円。地域における老朽化対策など地方公共団体の取り組みへの支援となる防災・安全交付金等には4074億円を投じます。

支部活動報告

水戸支部

一流の現場代理人へ組合と講習会



水戸支部（田口恵一郎支部長）は11月11日、水戸市建設業協同組合（根本勝義理事長）との共催で建築講習会を水戸市の県建設技術研修センターで開催しました。「一流の現場代理人に必要な能力と伸ばし方」をテーマに、計画力や交渉力、財務力を高める取り組みなどを学びました。田口支部長は「講習会での学びを生かして、現場の安全を第一に考えて取り組んではほしい」と述べました。

常陸大宮支部

県と道路清掃活動で地域貢献



常陸大宮支部（高野潔支部長）と茨城県常陸大宮土木事務所（寺田明弘所長）は、10月30日に「道の日」の道路清掃活動を行いました。支部会員や土木事務所職員ら108人が参加。国道118号と245号で空き缶やペットボトル、紙くずなどのごみを拾い集めました。高野支部長は「今日の清掃活動を通じて、道路愛護思想が、広く伝わることを期待している」とあいさつしました。

常陸大宮支部

Webex活用合同勉強会を開催



常陸大宮支部（高野潔支部長）は11月10日、Webexを活用したパトロール報告および災害協定に基づく活動をテーマに、県中央水道事務所（渡邊隆幸所長）と合同勉強会を開きました。地震発生時の対応やWebexの活用方法を確認するなど、緊急時の体制を強化。高野支部長は「連絡体制を再確認・再構築し、緊急対応をさらに充実させてまいりたい」と述べました。

高萩支部

3地区で187人が清掃活動



高萩支部（秋山光伯支部長）と茨城県高萩工事事務所（磯野健寿所長）は11月7日、「道の日」に伴う道路美化活動を実施しました。支部員や職員など187人が参加し、日立・高萩・北茨城の3地区の計15・2kmで、ごみの収集や分別に尽力しました。秋山支部長は「清掃活動はもとより、事故に遭わないこと、起こさないことが最も大切である。安全第一で取り組んではほしい」と呼びかけました。

知ってほしい、より安心の制度

法定外労災補償制度 建設共済保険

お問い合わせ 公益財団法人 建設業福祉共済団
フリーダイヤル **0120-913-931**
URL : <https://www.kyousaidan.or.jp/>

掛金負担が軽減

手厚い補償

労働者と企業の
リスクをカバー

支 部 活 動 報 告

石岡トンネル立坑を皆で視察



土浦支部

土浦支部（小林伸行支部長）は10月28日、霞ヶ浦導水工事事務所現場見学会を茨城町の上飯沼立坑にて開催しました。支部員約30人が、安藤ハザマが施工する石岡トンネル第3工区の現場を視察。主催者あいさつとして、小林支部長が「昨年に引き続き、貴重な見学の機会をいただき感謝する。工事が山場を迎えてる現場で、時間が許す限り多くのことを勉強していきたい」と述べました。

設計単価など県と意見交換会



常總支部

常総支部（中川原勇支部長）は10月30日、支部内にて茨城県常総工事事務所（藤原輝夫所長）と令和7年度第2回意見交換会を実施し、工期設定日数・経費の改善や今後の発注状況、ＩＣＴ関係要領の改定や設計単価の改定情報について共有しました。中川原支部長は「各現場においては、安全第一で工事を進めてほしい。今回の意見交換が有意義なものとなれば」と話しました。

道の日清掃で 575 kmを美化



土浦支部

土浦支部（小林伸行支部長）は11月12日、「道の日」道路清掃ボランティア活動を開催しました。支部員および茨城県土浦土木事務所（丹正史所長）の職員ら約400人が参加し、延べ574・8kmの道路美化に励みました。出発式で小林支部長は「先月の献血活動に続き、道路清掃へ協力いただき感謝する。道路利用者に喜んでもらえるよう取り組んでほしい」と、参加者を激励しました。

女性職員が現場見学し交流も



常總支部

常総支部（中川原勇支部長）は11月12日、常総ブロックが施工する筑西三和線の道路改良舗装工事の現場で、支部会員の女性職員による現場見学会を開きました。茨城県常総工事事務所担当者や現場代理人から工事の概要や施工の様子などを聞きながら意見交換。中川支部長は「実際の現場での仕事を少しでも分かってもらい、意見交換しながら親睦を深めていただきたい」と話しました。

親子連れ700人参加

イースつくばで体験会



バックホウ操縦などを体験した

本会と建設未来協議会は11月17日、建設業体験会をイースつくばの平面駐車場で開催しました。建設機械乗車体験や記念写真撮影会を通じて、幅広い世代に建設業をより身近に感じてもらうため実施しています。子ども280人、大人420人の計700人が参加し、展示したバックホウ操縦や高所作業車の乗車を体験。参加した子どもたちには、建設図鑑やミニ手帳、日立建機特製クリアファイルをプレゼントしました。

建設業年末年始労働災害防止強調期間



太田中の生徒が学ぶ

建設業出前授業を開催



本会と建設未来協議会は11月27日、県常陸太田工事事務所（栗原栄所長）と常陸太田市立太田中学校1年生61人2クラスを対象に建設業出前授業を行いました。常陸太田工事事務所の若手職員が建設業の概要やインフラの仕事などを解説。建設未来協議会員である瀬谷建設の瀬谷政行常務取締役が、受注者側の立場から建設業の役割を教本を用いて説明しました。瀬谷常務は、グループごとにハザードマップを制作してもらいつつ、災害時に危機意識を持つ重要性を説きました。

新春賀詞交歓会のご案内

主催 (一社) 茨城県建設業協会
(一財) 茨城県建設技術管理センター
茨城県建設業協同組合

日時 令和8年1月9日 (金)
午前11時開会

場所 水戸京成ホテル
(水戸市三の丸1-4-73)
TEL 029-226-3111

会員の動向

〈代表者変更〉

△鉾田支部

(有)石田建材 石田 敏晴 → 石田 利久